

第70回 日本栄養改善学会学術集会 (ハイブリッド開催)

日時: 9月1日(金)~3日(日)

開催方法: 現地会場、オンデマンド
配信(9月18日~10月8日)

会場: 名古屋国際会議場(愛知県名古屋)

テーマ: すべての人の幸福を目指した実践栄養学の発信—ソーシャルインクルージョンの実現に栄養学を取り入れる

プログラム: 会長講演「すべての人の幸福を目指した実践栄養学の発信—ソーシャルインクルージョンの実現に栄養学を取り入れる(仮)」塚原丘美(名古屋学芸大学管理栄養学部 管理栄養学科教授)／特別講演「伴走型支援で進めるソーシャルインクルージョン(仮)」原田正樹(日本福祉大学学長)／教育講演1「ヘルスリテラシーとシェアードディシジョンメイキング(協働意思決定)(仮)」中山和弘(聖路加国際大学大学院看護学研究科教授)／2「院生向け研究・教育セッション(仮)」栗木清典(静岡県立大学食品栄養科学部栄養生命科学科教授)／4「子どもの食べる機能の障害とリハビリテーション」田村文誉(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック口腔リハビリテーション科教授)／8「アレルギー: 食べることが怖い子どもたち(仮)」伊藤浩明(あいち小児保健医療総合センターセンター長兼免疫・アレルギーセンター長)／9「妊産婦の栄養管理—妊娠中の体重増加指導と妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病の予防(仮)」伊東宏晃(浜松医科大学産婦人科教授)／10「通いの場を通じた栄養改善、口腔機能向上と介護予

防(仮)」本川佳子(東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム研究員)／12「食事の多様性と認知機能(仮)」大塚礼(国立長寿医療研究センター老化疫学研究部部長)／シンポジウム)／ほか

参加登録期間:

【事前】 ~7月23日(日)

【通常】 8月1日(火)~10月8日(日)

参加費:

【事前】 学会会員 9000 円、学生会員 3000 円、日本栄養士会会員 1 万 1000 円、一般 1 万 3000 円、学生(非会員) 5000 円

【通常】 学会会員 1 万 1000 円、学生会員 4000 円、日本栄養士会会員 1 万 3000 円、一般 1 万 5000 円、学生(非会員) 6000 円

参加登録方法: 下記 URL から

URL <https://www.congre.co.jp/kaizen70/contents/reg.html>

運営事務局: 株式会社コングレ中部支社内

〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町 5-1 名古屋栄ビルディング 7 階

☎ 052-950-3430

✉ kaizen70@congre.co.jp

URL <https://www.congre.co.jp/kaizen70/index.html>

北海道医療大学看護福祉学部学会第19回学術大会

日時: 9月9日(土)

会場: 北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU(北海道札幌市)

テーマ: ヒューマンケアのイノベーション—看護福祉学部 30 周年を迎えて

プログラム: 記念講演「その人のいのちと暮らしの伴走者—看護と福祉のコラボレーション」野川道子(北海道医療大学名誉教授)／シンポジウム「ヒューマンケアによるソーシャル・イノベーション」吉藤康太(株式会社国際テクノ・センター コンサルタント)、坂本諒(「訪問看護のビジナ」プラチナ看護株式会社代表取締役)、大橋一之(社会福祉法人あーと理事長)／研究発表／情報交換会／ほか

参加費:

【事前】 会員・本学部卒業生 2000 円、非会員 2500 円、学生(大学院生を除く) 無料

【当日】 一律 2500 円、学生(大学院生を除く) 無料

【情報交換会】 要事前申込 3500 円

申込方法: 下記 URL から

URL <https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/taikai-annai.html>

運営事務局:

✉ nsgakujyutu@ml.hoku-iryo-u.ac.jp

URL <https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/index.html>

第37回 日本母乳哺育学会学術集会

日時: 9月16日(土)~17日(日)

会場: JA 共済ビルカンファレンスホール(東京都千代田区)

テーマ: 母乳を科学し、母乳育児をサイエンスから支援する

運営事務局: 株式会社サンブラネット

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 6 階

☎ 03-5940-2614

URL <http://bonyu37.umin.jp/index.html>

日本家族療学会 第40回福岡大会

日時：9月16日（土）～18日（月・祝）

開催方法：現地会場、オンデマンド配信（9月18日～10月8日）

会場：福岡国際会議場（福岡県福岡市）

プログラム：

【大会】大会長講演「家族療法をもっと身近なものに」児島達美（KPCL代表）／特別講演1「人生100年時代の家族のかたち」山田昌弘（中央大学教授）／2「家族療法と国際交流、この40年とこれから」田村毅（田村毅こころの診療所）／シンポジウム1「家族療法・ブリーフセラピーにおける“ことばと会話”」津川秀夫（吉備国際大学）、黒沢幸子（目白大学）、坂本真佐哉（神戸松蔭女子学院大学）、斎藤環（筑波大学）／2「『チーム』や『連携』が自律的・機能的となるための支援—システムズアプローチの観点から」浅野久木（刈谷病院）、高林学（龍谷大学）、児玉久仁子（東京慈恵会医科大学）、吉川悟（龍谷大学）／3「家族療法モデルによるスーパーヴィジョンが目指すもの」石井千賀子（石井家族療法研究室）、小笠原知子（金沢大学）、中野真也（国際医療福祉大学）、中村伸一（中村心理療法研究室）／4「家族心理教育の現在地—精神疾患という経験をどう理解し、どう支援するか？」伊藤順一郎（メンタルヘルス診療所しっばふぁーれ）、岡田久実子（みんなネット）、渡邊真里子（ちはやACTクリニック）、福井里江（東京学芸大学）／5「法制度と家族支援—被害者と加害者の狭間で」廣井亮一（立命館大学）、久保健二（福岡市立子ども総合相談センター）、中田慶子（DV防止ながさき）、国重

浩一（ナラティブ実践協働研究センター）／6「赤ちゃんと家族—周産期医療の進歩による光と影」後藤清恵（国立病院機構新潟病院臨床研究部）、近藤達郎（みさかえの園総合発達医療福祉センター）、宮田郁（大阪医科薬科大学看護学部）／座談セッション「日本に家族療法が登場してきた時」野村直樹（名古屋市立大学）、遊佐安一郎（長谷川メンタルヘルス研究所）渋谷田鶴子（麻布ウェルネス）、福山和女（ルーテル学院大学）

【ワークショップ】「家族療法入門」東豊（龍谷大学）定員なし／「ロールプレイによる家族面接演習」中村伸一（中村心理療法研究室）、北島歩美（日本女子大学）、宮崎愛（児童家庭支援センターパラソル）、岩井昌也（錦糸町クボタクリニック）定員40名、会員のみ／「保護者支援と教職員支援の実践的演習、システムズ・コンサルテーションを身につける」吉川悟（龍谷大学）定員なし／「うまくいかなかった二人に取り組むナラティブ・アプローチ」国重浩一（ナラティブ実践協働研究センター）／「BPSモデルのケースマネジメント—家族のアセスメントを支援に活かす」近藤直司（大正大学）定員40名／「ソーシャルワークと家族療法」福山和女（ルーテル学院大学）／「児童虐待対応—家族療法を応用すると何が起きるのか」中垣真通（子どもの虹情報研修センター）、三木馨（西日本こども研修センターあかし）、加藤俊造（新潟県南魚沼児童相談所）、山中博喜（静岡県中央児童相談所）定員40名／「在宅医療における家族支援」若林英樹（三重大学総合診療部）、宮本佑達（ひまわりクリニック／名古屋大学大学院医学系研究科博士課程）、山田宇以（聖路加国際

病院心療内科）、永嶋有希子（弓削メディカルクリニック、滋賀家庭医療学センター）、渡辺俊之（渡辺医院／高崎西口精神療法研修室）定員30名

参加登録期間：

【事前】～8月15日（火）

【オンデマンド配信】9月9日（土）まで

申込方法：下記 URL から

URL <https://fukuoka2023.jaft.org/application/>

※オンデマンド配信は下記

URL <https://fukuoka2023.jaft.org/on-demand/>

参加費：

【事前】大会：会員9000円、非会員1万円、学生5000円、ワークショップ：会員8000円、非会員9000円、学生5000円）

【当日】大会：会員1万円、非会員1万1000円、学生6000円、ワークショップ：会員9000円、非会員1万円、学生6000円

【オンデマンド配信】参加費：会員9000円、非会員1万円、学生5000円

問い合わせ先：株式会社 JTB 福岡支店営業第4課

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル3階

☎092-712-6142

✉fukuoka_amarys@jtb.com

URL <https://fukuoka2023.jaft.org/>

掲載情報は2023年6月25日現在のものです。最新の情報は主催者にお問い合わせください。

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講演会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp